

一般財団法人 文民教育協会
子どもの文化学校 学校長 加藤繁美
 171-0031 東京都豊島区目白3-2-9 3F (JR山手線目白駅 徒歩1分)
 TEL 03-3951-0151 FAX 03-3951-0152
 Mail school@kodomonobunnka.or.jp
 HP https://www.kodomonobunnka.or.jp

保育界をリードするおなじみの講師陣に加え
 異分野から最先端を行く講師陣を招き
 時代の要請に応える新しいコンセプトの講座。
 第55期という長き伝統と歴史を受け継ぎ
 今期も子どもの権利と最善の利益を守り
 主体性を育む保育を実現できるように
 みなさんの期待を裏切らない充実したラインアップです。
 新しい教室も注目です！



手づくりのあたたかい
 小さな学び舎。
 各教室には担任がつき
 一人ひとりの感想や声を
 「クラスだより」にまとめ
 みんなで講義を共有し
 学びを深めています。

第55期生募集◎2020・5月→2020・12月

子どもの文化学校

歴史と伝統/明日の保育を拓く/豊かな子どもの教育と文化創造をめざす

第55期記念特別講座

特① 調整中

子どもたちへの愛を語る
 新沢としひこ × 井桁容子

(シンガーソングライター) (非営利団体コードモニター代表理事)



「子どもたちへの思い」についてなら、いつまでも話し
 続けられるお二人です。お互いがインタビュアになり、
 それぞれの子ども観・保育との接点、今伝えたいことな
 どをお話し頂きます。子どもたちのために学びたいと文
 化学校に集う皆さんにエールを送ります。

“集団っていいな”

—みんなが育ちあう社会を創る・それが保育—

今井和子 × 島本一男

(立教女学院短大元教授) (八王子諏訪保育園園長)

一方的にしゃべりまくり、人の話は聞かない。自分を少し
 もあらわそうとしない、ゲームばかりで友達と遊ばない…
 などコミュニケーションの苦手な子ども(人間)が多くな
 りました。どうしたらいいのでしょうか？人生の土台となる
最初の6年間、人との関わりが育つ過程を理解し支えるこ
 と、夢中で遊び、けんかをし、また仲直りし…。子どもた
 ち自身で決め、支え合う集団を育てましょう。それが平和
 で民主的な社会を創る保育に繋がると考えます。



特② 8月28日(金)
 18:30～20:30/3,000円

★8月23日(日) 東京夏のセミナー(1日研修) 開催予定

詳細は決まり次第HPでの公開並びに文化学校で案内の配布・郵送を行います。
 ★東京都保育士等キャリアアップ研修は5月以降HPに掲載予定です。★京都 夏のセミナー 8月11日(土) 予定
 ★子どもの文化の総合雑誌 月刊「子どもの文化」…遊びや文化・保育・教育のその時々の子どものにも関わること
 な問題にスポットをあて、やさしく解説します。1冊300円 特別号を含む年間定期購読は、5,692円です。

募集要項
 対象/保育・子どもに携わる全ての方々
 時間/原則PM6時半～8時半(各教室・各講座共通) 定員/各教室によって異なります
 受講料/●申し込まれる時に全額納入のこと(各教室の受講料は上記に掲示)
 ●同じ回数の教室でもワークショップの教室や演習中心の教室によって受講料が異なります。
申込み方法
 ・Fax・郵送での申し込みも可能です。
 ・申込用紙がない場合は、HPからもダウンロード可能です。
 * FAX 03-3951-0152 * Eメール school@kodomonobunnka.or.jp * https://www.kodomonobunnka.or.jp/
 ・申込書を送信する時、必ず受講票送付先をご確認下さい。
 ・受講料受領の確認後、開講の2～3週間前までに受講票、受講のしおりをお送りします。
 ・受講料は次の方法でお送り下さい。・受講料は申し込み後2週間以内に送金して下さい。
 ①現金書留 ②子どもの文化学校へ直接持参
 ③銀行送金/三井住友銀行・目白支店 普通 口座番号 0921452 「口座名・子どもの文化学校
 入金の振り込み依頼は申し込み時のお名前・団体名でご送金下さい。
 ④郵便振替/郵便局に「私込取扱番」があります。その通知欄へ申込書と同じ要項を記入の上、
 ご入金して下さい。/口座番号 00120-2-74938 /口座名・子どもの文化研究所
申込先 〒171-0031 東京都豊島区目白3-2-9 **子どもの文化学校**
 ・キャンセルは原則として認めませんが、やむを得ない場合のみ、4月15日まで、手数料3割を引
 いてご返金致します。受講者の変更も可能です。申込書はコピーし、何人でも申し込み出来ます。
 ・申込書に携帯電話番号の番号もご記入下さい。

3月2日(月)から申し込み開始です。WEB申し込みがカンタンです。

第55期・2020年度教室概要	主役講師	回数	受講料
月曜日	①O歳児クラス ②保育を交える思想と哲学 ③保育の中の子ども権利 ④発達を支援を考える教室 ⑤「思い」からはじめる保育環境	10回 6回 5回 3回 3回	22,000円 13,200円 11,000円 6,600円 6,600円
火曜日	①2歳児クラス ②おはなしとわらわらうたの教室 ③保育カリキュラムを問い直す ④子どもたちとつくるインクルーシブ保育	10回 10回 4回 4回	22,000円 22,000円 8,800円 8,800円
水曜日	①1歳児クラスの保育教室 ②汐見絵幸保育教室 ③副園長・主任・リーダーと保育の実践 ④映像から読み解く保育のまなざし ⑤保育の喜び・そして責任	10回 8回 3回 5回 5回	22,000円 17,600円 6,600円 11,000円 11,000円
木曜日	①3歳児クラスの保育教室 ②5歳児クラスの保育教室 ③新しい赤ちゃんと保育実践を学ぶ教室 ④「子どもかわかる」実践	10回 10回 7回 3回	22,000円 22,000円 15,400円 6,600円
金曜日	①4歳児クラスの保育教室 ②加藤繁美保育教室 ③表現と人間 ④絵本の持つ力 ⑤てぶくろ人形教室	10回 7回 4回 5回 4回	22,000円 15,400円 8,800円 11,000円 8,800円
特別講座	①第55期記念特別講座 子どもたちへの愛を語る ②第55期記念特別講座 集団っていいな ③たにぞうのあつぱれ運動会！ ④特別演習 研究的実践教育成ゼミ(月) ⑤特別演習 研究的実践教育成ゼミ(水) ⑥若手保育者のための保育教室 ⑦土曜ゼミ「気になる子」と言わない保育 ⑧自主研究(片岡輝)	1回 1回 各2回 5回 7回 7回 3回(3時間) 1回 2回	3,000円 3,000円 各5,500円 11,000円 15,400円 9,900円 22,000円 1回2,000円

※6,2歳児からスタートする新しいコースです。

特③ たにぞうのあつぱれ運動会！(水) 谷口園博 (創作あそびうた作家)
 Aコース 6/3, 7/8 Bコース 6/17, 7/1 A・B各 5,500円 (18:30～20:30)
 Cコース 6/3, 7/8 Bコース 6/17, 7/1 A・B各 5,500円 (18:30～20:30)
 子どもも大人も思いっきり楽しむダンスのプログラムのプログラムが今年も盛りだくさん!!今年の運動会もこれだけばっちり!!●A・Bコース共に同じ内容です。(両コース受講することはできません)

特④ 特別演習 研究的実践教育成ゼミナール(月) 加藤繁美
 (東京家政大学教授・子どもの文化学校校長)
 ①6/1 ②7/6 ③8/3 ④9/7 ⑤10/12 (18:30～20:30) / 11,000円 (月曜日・全5回)

このゼミは、対話する実践家であると同時に、研究する専門家として専門性を高めたい保育者のための特別ゼミナールです。保育実践を科学する視点の獲得を目指して、文献講読・実践検討・理論創造といった主体的学びを求め保育者に開かれたゼミナールです。①研究的実践家への道(講義と演習) ②保育実践の課題と展望(レポートと討論) ③課題別研究(レポートと討論) ④理論研究と実践研究の接点1(レポートと討論) ⑤理論研究と実践研究の接点2(レポートと討論)

特⑤ 若手保育者のための保育教室(水) 岡健 (大妻女子大学教授)
 6/24, 7/22, 8/26, 9/30, 10/21, 11/18, 12/23 (18:30～20:30) (水・全7回)

1年間(全7回)を通して、保育の基本を学びながら、皆さんの悩みをともに考えていく教室です。若手保育者と一緒に学びたいと考える先輩保育者も同じ園の若手保育者と一緒ならば、ご参加頂けます。子どもの文化学校でもはじめての取り組みです。
 特⑤-1 お一人で申し込まれる場合(経験年数1～5年目まで)(15,400円)
 特⑤-2 同じ園の先輩保育者と2名で申し込まれる場合(1名14000円)※特⑤-2を2名分(若手+先輩)申し込んでください。

特⑥ 土曜ゼミ「気になる子」と言わない保育 ～子どもの視点で「気になる」を考える～ 赤木和重 (神戸大学大学院 准教授)
 ①9/5 ②10/3 ③11/7 (14:00～17:00) / 9,900円 (土曜日・全3回)

子どもへの支援を考える時、「問題を解決したい!」から「楽しく遊ばない?」視点を変えるだけで見えてくるものがあります。障がいのある子の「遊び心」、そして保育者の「遊び心」を大事にした保育を「発達的視点」を踏まえながら皆さんと一緒に考えます。グループワークや事例も出し合いながら明日の保育が楽しくなる時間を共有しましょう。(各3時間)

特⑦ 自主研究(片岡輝)ゼミ 「子どもの文化・子どもの権利」とは何かをテーマに討論 1回/2,000円
片岡輝 (詩人・子どもの文化研究所所長)・**吉葉研司** (名古屋学園大学教授)

※5月～1年間で予定しています。●第1回は5/23(土)午後2時～5時。日程は第4土曜日を予定していますが、参加者の方々と話し合ってから決めていきます。
 片岡輝所長を囲んで、「子どもの文化・子どもの権利」とは何かをテーマに、テキストを読み解き、レクチャーを聞いて討議します。吉葉先生がチャーターです。